

I「老いても、住みよい大歳に」

○高齢者の生活安全対策

・詐欺、訪問販売等への対処

高齢者の防犯意識の高揚を図るため、3月13日(火)に下湯田集会所で「ひだまりの会」の皆さんを対象に「生活安全セミナー」と題して、詐欺訪問販売等の悪徳商法への対応について、講義などを行いました。

○高齢者の交通安全対策

・高齢ドライバー1日ドック講習会の開催

高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、12月13日(火)に山口県交通安全学習館で、おおむね60歳以上の方を対象として、1日ドック講習会を開催しました。参加者は、四輪車事故体験シミュレーション(交通事故の疑似体験)やダミー人形衝突実験などを行いました。

【四輪車事故体験シミュレーション】



【ダミー人形衝突実験】



II「子どもたちが、すくすく育つ大歳に」

○子どもの生活安全対策

・交通指導教育の支援

2月3日(金)、24年度の新入学児童を対象に大歳小学校で行われた交通安全教室に参加し、交通安全グッズ(下敷き)を配付しました。

【交通安全教室の様子】



・交通立哨の実施

交通安全運動期間中に交通立哨を実施しています。
安心安全部会員の活動用ベストと帽子を作成しました。

Ⅲ「住民のみんなが参加する自治会にしよう」

○地域の生活安全対策

・ワンワンパトロールの実施

愛犬と散歩される方に「おとしわんわんパトロール隊」の帽子を希望により配付しています。これは帽子を着用していただき、普段どおりに散歩(パトロール)していただき、散歩コース周辺での防犯意識の啓発を行うとともに、地域の皆さんの防犯意識を高め、空き巣や痴漢、その他各種犯罪を未然に防止することを目的としています。

【おとしわんわんパトロール隊の帽子】



○地域の交通安全対策

・交通安全運動

交通安全運動期間中に交通立哨を実施しています。

○地域の災害安全対策

・防災委員（防災リーダー）の研修

23年度から各自治会に設置していただいた防災委員さんの研修会を計9回(5月、6月、8月、10月、12月、2月)にわたり開催しました。皆さんお忙しい中をご参加いただき、熱心にご協力いただきました。

・自主防災組織の立ち上げ

自治会ごとに自主防災組織を立ち上げるため、自治会長さんや防災委員さんのお手伝いを防災アドバイザーのご協力のもと行っています。現在までに、自主防災組織を設立された自治会は、4自治会です。(上湯田下、河内、黒川市、馬庭)

・自主防災組織設立後の防災用具購入支援

自主防災組織を立ち上げた自治会に対して、防災資機材を購入する経費の一部を助成しています。(今年度は上湯田下に支援しました。)

・災害史の作成、保存

平成21年夏の水害を記憶にとどめるため、浸水した地域の9箇所に最高水位を表示した水位板を設置しました。

(※平成11年8月発行の「まちづくりかわら版おとし第9号」を参照)

【岩富に設置された水位板】



【水位板】



○犯罪の起こりにくい環境の整備

・榎野川、吉敷川、朝田川土手の整備

大歳草刈隊や下湯田自治会有志の皆さんのご協力いただき、市道や自転車道沿いの草刈が行われました。(7月10日、8月28日、10月30日 計3日間)

【作業風景】



【草刈前】(朝田川沿い) 【草刈後】



【草刈前】（榎野川沿い:自転車道）【草刈後】



【大歳草刈隊の皆さん】



・ **ゴミの不法投棄防止**

榎野川や吉敷川沿いの土手や道路へのゴミの不法投棄を防止するため、「啓発看板」と「貧乏神社のミニ鳥居」を6箇所設置しました。

【榎野川沿いに設置した貧乏神社のミニ鳥居】

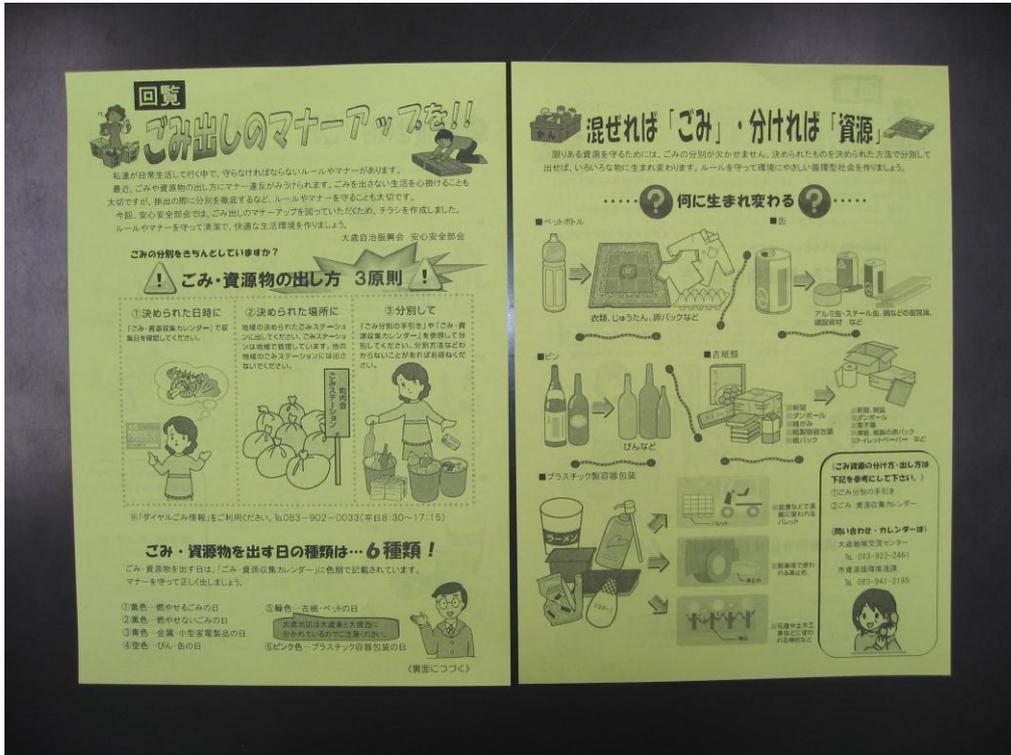


・ゴミ出しマナーアップ作戦の展開

最近、ごみや資源物の出し方にマナー違反がみうけられます。ごみを出さない生活を心掛けることも大切ですが、排出の際に分別を徹底するなど、ルールやマナーを守ることも大切です。

ごみ出しのマナーアップを図っていただくため、チラシを作成し、2月に各自治会で回覧していただきました。

【ごみ出し啓発で回覧したチラシ】



◎安心安全な地域づくり

・安全パトロールの実施

定期的に大歳地区内の生活・交通関係などの危険箇所の点検のため、見回りを実施しています。夜間の歩行者などには、交通安全グッズを配布するなど、安全指導を随時実施しています。

【交通安全グッズ】



・防災委員の帽子、ベストの作成

防災委員さんの活動用ベストと帽子を作成し、自治会の防災委員さんに配付しています。

【防災委員の帽子、ベスト】



・住民へのアンケート調査の実施

地域の安心安全に関して、各自治会長さんを対象にアンケートを実施しました。回答結果は次のようになっています。

(1)生活安全

生活安全面での自治会の不安は、高齢者世帯、空き家、防犯体制に関することが85%を占めており、これらに対応する施策が必要と思われます。これに対して、自治会の主な活動は、防犯灯の整備・促進、高齢者世帯の見廻り、児童通学路の安全対策があり、自治会の不安解消に取り組んでいる状況が伺えます。

(2)交通安全

80%以上が自治会内の交通安全面に関し、「危険・問題がある」と認識しており、交通マナーの不良、交通量の増大、生活道路が狭いなどの問題があり、交通に関する指導とともに行政及び警察等との連携が必要と考えられます。

(3)犯罪が起こりにくい環境の整備

90%が「不安」と認識しており、防犯灯の設置、道路・土手の環境整備(草刈り)を各自治会が自ら実施し、対応している状況です。

大歳自治振興会の支援事業も防犯灯の設置、道路環境の整備(草刈り)に対応しており、自治会のニーズと合致していると考えます。

(4)災害安全

20%以上が「大いに不安」を感じ、90%以上で「不安」を感じており、災害に対する関心が高くなっています。